

30年ぶりに七尾病院に勤務することになりました。例年はない早く開花をした病院のサクラの木々と、坂道を登り切ると高台から見える七尾湾の風景に懐かしい想いと、建替により病棟も大きく病室も広くなったというのが第一印象です。

さて、七尾病院ですが、当院は全国142病院を運営する日本最大の病院ネットワークを有する独立行政法人国立病院機構の病院の一つです。石川県内にも4病院があり特色のある診療機能によりそれぞれ運営されており、当院の役割としては政策医療としての結核医療、重症心身障害児（者）の療育、併せて神経・筋難病に対する長期的な治療を行い、高度で専門的な医療を提供する、患者さんにいつも愛と思いやりの心で接しますを職員の信条とする病院です。

現在は、建築後40年を経過した外来診療棟の建替工事を行っています。通院の方々、お見舞いにお越しいただいているご家族の方々にも大変ご不便をおかけしておりますが、外来診療棟は本年11月下旬に完成し大型医療機器、什器類の設置・引越を行い、12月には新しい広い建物で外来診療を開始します。またお見舞いのご家族の方々も、昨年12月より仮設廊下で大きく迂回していただいておりますが、新外来診療棟と病棟を直接つなぐため病棟が近くなります。

旧外来診療棟はその後に解体し、駐車場・外構の工事を行い来年5月には完成します。その間新外来診療棟の東側（七尾湾側）が仮設の玄関となりますが、今しばらくご不便をおかけします。

平成31年5月には"平成"から"〇〇(どんな元号になるのでしょうか？)"に改元し新しい時代を迎えます。時を同じくして、病棟等全ての建替工事が完了し当院も新しくなる心嬉しい時期です。皆様には今以上に当院をご利用いただけたらと思います。



事務部長 山口 悟



看護部長 西村 民子

このたび、七尾病院看護部長として着任いたしました。私は、機構病院の教員として勤めた期間が長く、久しぶりの臨床にいくらかの戸惑いを感じながらも、看護に触れる機会をいただき、とてもうれしく思っています。

七尾病院への異動が決まった際に、周りのみなさんから“七尾はいいところですよ～”と言われることが何度もあり、あまり知らない七尾という地への期待を膨らませて参りました。まだ街なかを散策できておりませんが、この地の魅力、地元の食べ物、人の優しさに触れることを楽しみたいと思っています。

これまで、いくつかの学校を異動するなかで、学生だった方々が臨床現場で働いている姿を頼もしく感じ、とても励まされてまいりました。これから少しずつ七尾病院の看護を体験し、実践するなかで、七尾の看護を知っていきたくと思っています。そして、患者さん、働くみなさんの毎日より豊かになるよう、より自分らしく暮らしていけるように、一緒にがんばっていきたくと思っています。

七尾病院には、研修で一度お邪魔したことがありますが、新しくなった病院には初めて足を踏み入れました。長い歴史を感じる外来棟はそのままですが、本年11月下旬に完成します。長く受け継がれてきたものを大切にしつつ、新しい価値を育てていく。ここで働くみなさんとそういう毎日を過ごしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。